



おまかせサイバーみまもり

おまかせサイバーみまもり 証明書インストールマニュアル

2023.01.24
東日本電信電話株式会社

- [本マニュアルについて](#) . . . P3
- [証明書ダウンロード方法（共通）](#) . . . P4
- [Windowsにおける証明書インストール方法](#) . . . P5
- [MacOSにおける証明書インストール方法](#) . . . P8
- [Firefoxにおける証明書インストール方法](#) . . . P10
- [Thunderbirdにおける証明書インストール方法](#) . . . P13
- [iOSにおける証明書インストール方法](#) . . . P16
- [Androidにおける証明書インストール方法](#) . . . P19

- 本マニュアルは、以下の場合に、専用BOXが発行する証明書を取得し、各機能を利用する端末にインストール（インポート）するためのものです。
 - メールセキュリティ対策として、POP3S/SMTPTS/IMAPSの復号機能をONとした場合
 - HTTPS復号をONとした場合

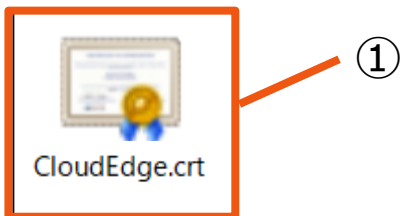
- 該当する端末が複数ある場合には、各端末に証明書のインストールが必要になります。
- 両方の機能が有効な場合、証明書は共通ですので、インストールは端末ごとに1回実施してください。
- POP3S/SMTPTS/IMAPSの復号機能がONのとき、証明書がインストールされていない端末でメール送受信を行った場合、当該端末でのメール送受信が失敗する場合があります。
- HTTPS復号機能がONのとき、証明書がインストールされていない端末でWebブラウザによりブラウジングを行った場合、Webブラウザが証明書の警告を表示し、ブラウジングが正常にできなくなる場合があります。

証明書ダウンロード方法（共通）

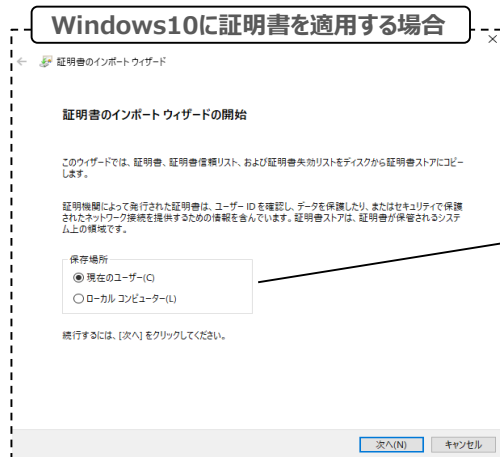
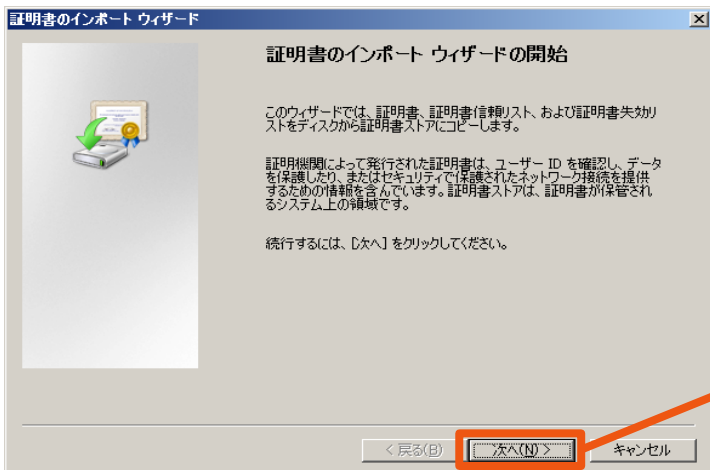
- ❑ 以下手順により、証明書をダウンロードします。
- ❑ ダウンロードした証明書は、コピーして使用できます。端末ごとにそれぞれダウンロードする必要はありません。

The screenshot shows the Cloud Edge Cloud Console interface. The navigation menu at the top has '管理' (Management) highlighted with a red box and a circled '1'. The left sidebar has '証明書管理' (Certificate Management) highlighted with a red box and a circled '2'. The main content area displays 'SSL復号証明書' (SSL Decryption Certificate) details, including '発行先' (Issued to: Cloud Edge), '発行元' (Issued by: Cloud Edge), and '有効期限' (Valid until: 2044-08-26 16:29:48 JST+0900). A '再生成' (Regenerate) button is visible, with '再生成' highlighted by a red box and a circled '3'. At the bottom, a dialog box asks 'console.cloudedge.trendmicro.com から CloudEdge.crt (1.30 KB) を開くか、または保存しますか?' (Open or save CloudEdge.crt (1.30 KB) from console.cloudedge.trendmicro.com?). The '保存(S)' (Save) button is highlighted with a red box and a circled '4'.

- ① 管理をクリック。
- ② 証明書管理をクリック。
- ③ エクスポートをクリック。
- ④ ローカルに保存
(デフォルト名CloudEdge.crt)

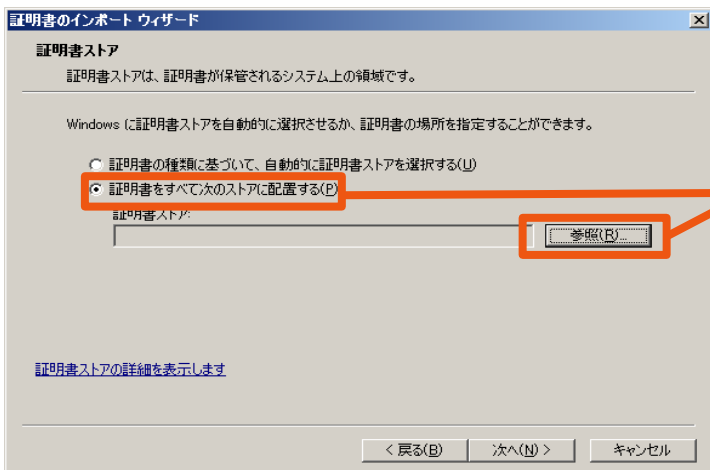


- ① ローカルに保存したCloudEdge.crtファイルをダブルクリック。
- ② 「セキュリティの警告」がポップアップ表示されるので「開く(O)」ボタンを押下する。
- ③ 「証明書情報画面」がポップアップ表示されるので、「証明書のインストール(I)」ボタンを押下する。



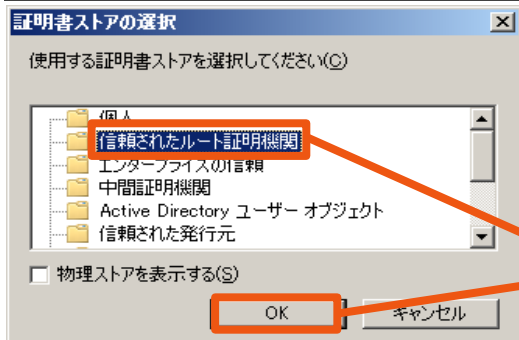
※Windows10に証明書を適用する場合は
左の画面が表示されるので

保存場所を 現在のユーザー (C)
(ログインしているアカウントに対して証明書を適用)
ローカルコンピュータ (L)
(パソコンの全てのアカウントに対して証明書を適用)
から選択する

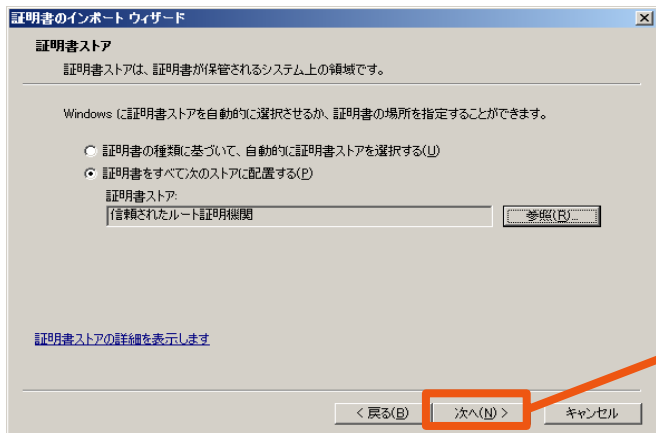


④ 「証明書のインポートウィザードの開始画面」がポップアップ表示されるので、「次へ (N)」ボタンを押下する。

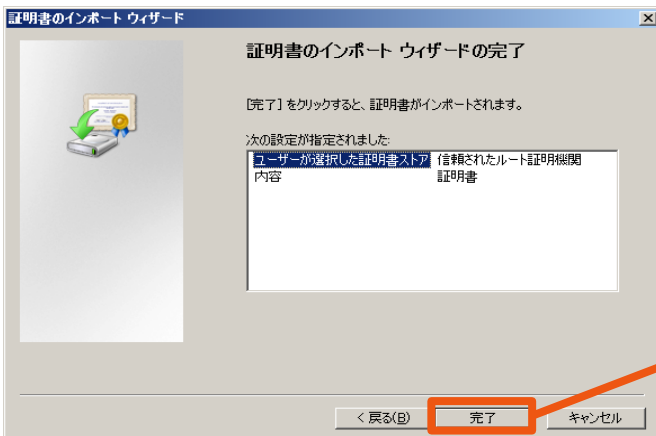
⑤ 「証明書ストア画面」が表示されるので、「証明書をすべて次のストアに配置する (P)」を選択して「参照 (R)」ボタンを押下する。



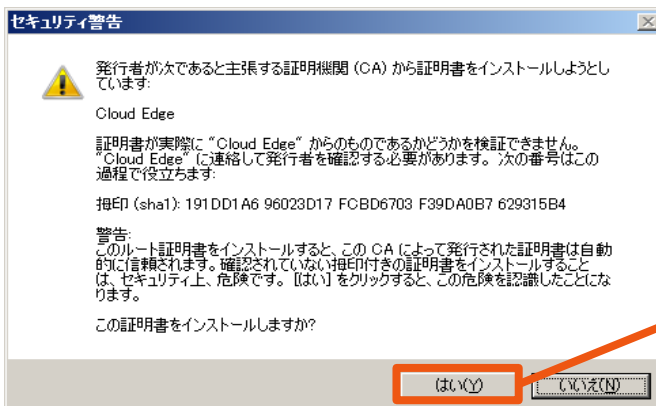
⑥ 「証明書ストアの選択画面」がポップアップ表示されるので、「信頼されたルート証明機関」を選択して「OK」ボタンを押下する。



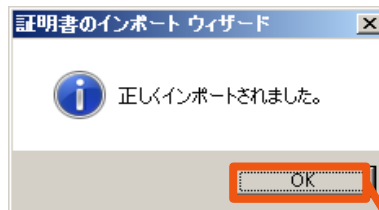
⑦ 「証明書のインポートウィザード」に戻るので、「次へ(N)」ボタンを押下する。



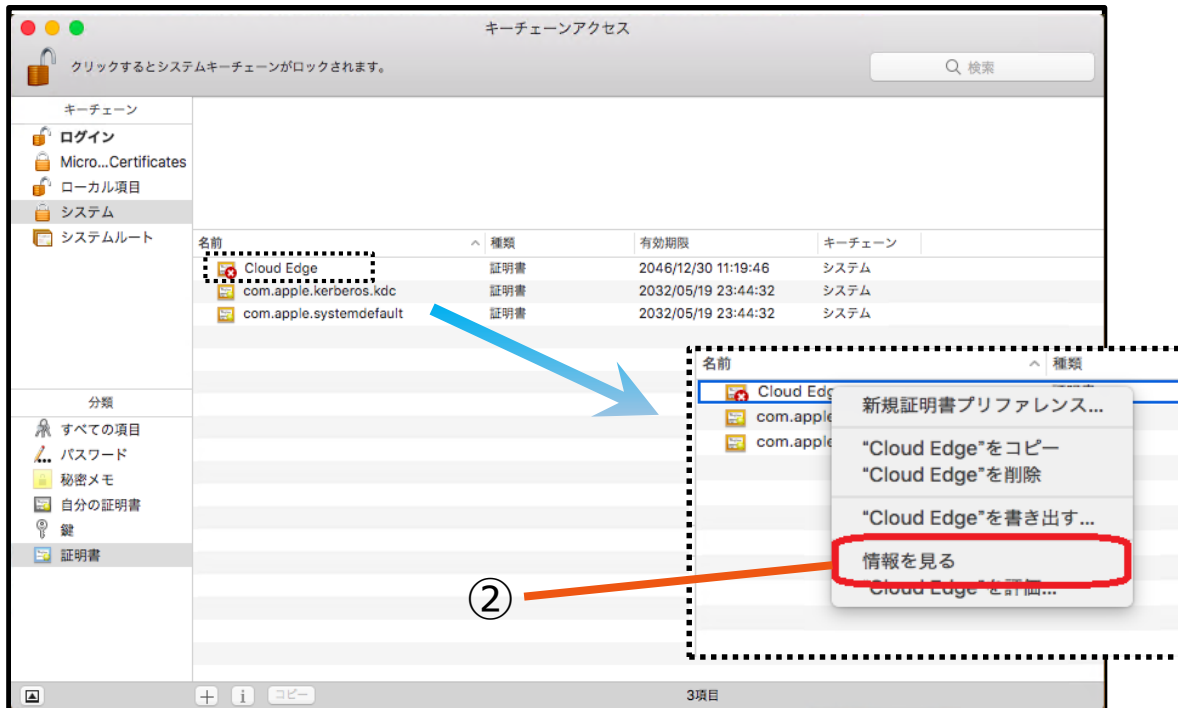
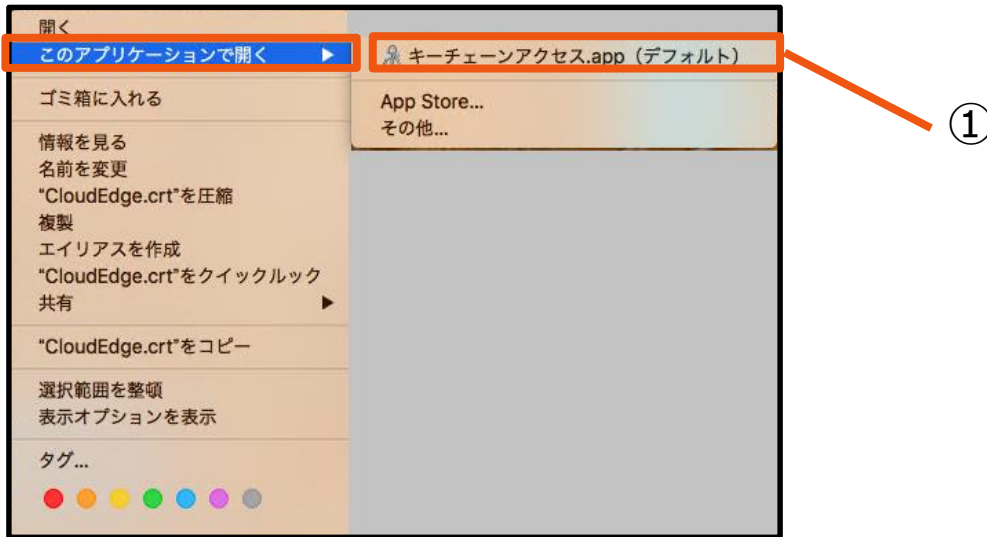
⑧ 「証明書のインポートウィザードの完了」が表示されるので、「完了」ボタンを押下する。



⑨ 「セキュリティ警告画面」がポップアップ表示されるので、「はい(Y)」ボタンを押下する。

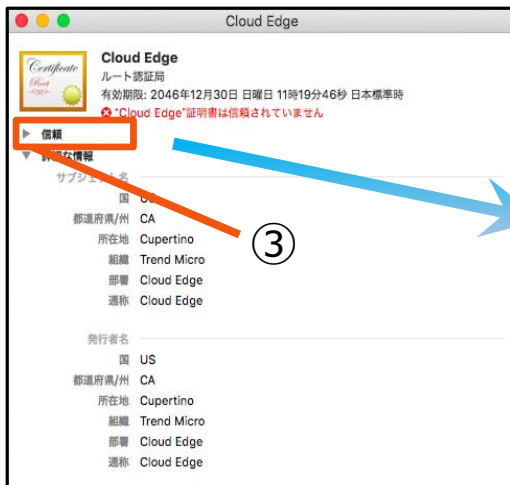


⑩ 「正しくインポートされました。」のポップアップが表示されるので、「OK」ボタンを押下する。



保存したCloudEdge.crt ファイルを
右クリック

- ① 「このアプリケーションで開く」 > 「キーチェーンアクセス」に移動する。
- ② 「キーチェーンアクセス」画面が表示される
Cloud Edgeを右クリックし、「情報を見る」を選択する。



③ Cloud Edge証明書の情報画面が表示される。

▶ をクリック「信頼」セクション展開する。

④「この証明書を使用するとき」リストから [常に信頼] を選択する。

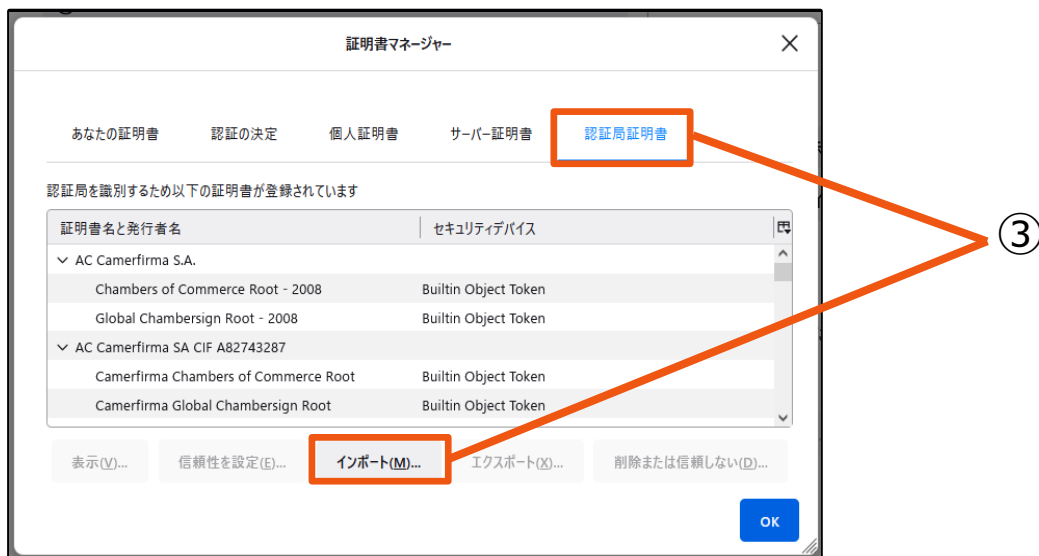
※このセクションに表示されたすべてのアプリケーションの値が自動的に[常に信頼]に変更される。画面を閉じる。

⑤キーチェーンアクセス画面を表示させる。
Cloud Edge証明書が信頼された証明書として表示されていることを確認する。

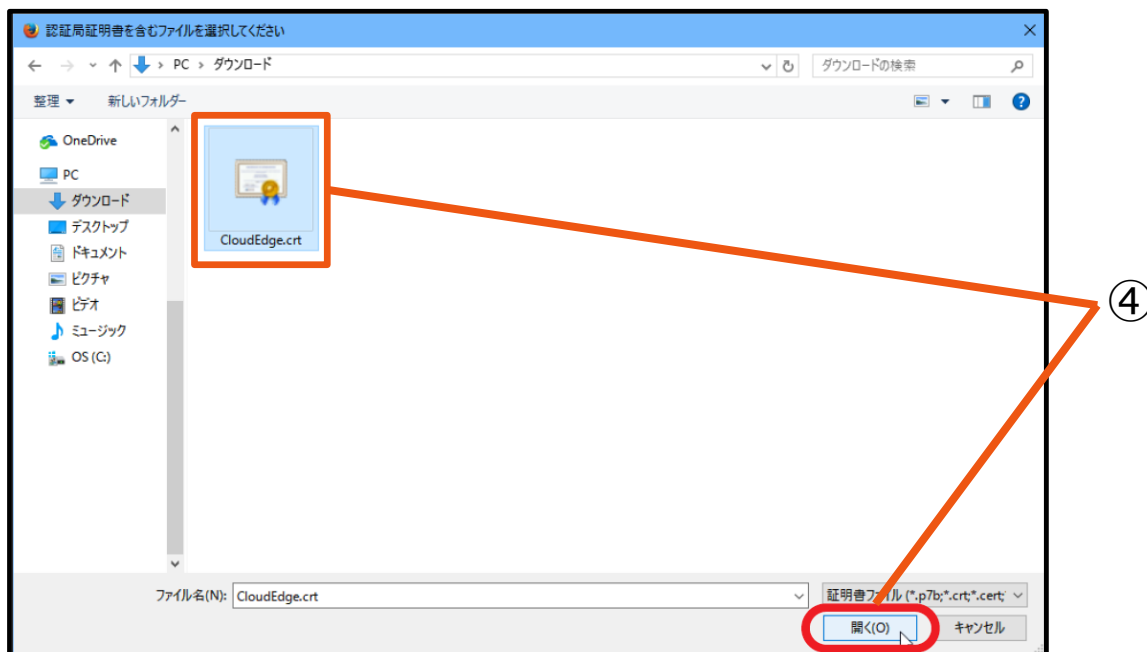




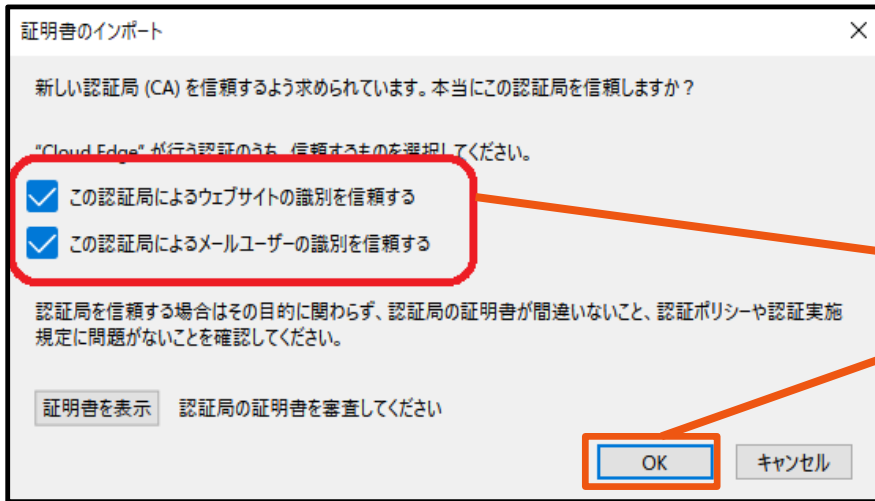
- ① ツールバーの一番右にあるメニューをクリックして、「設定」をクリックする。
- ② 「プライバシーとセキュリティ」をクリックし、「証明書を表示」をクリックする。



③ 「証明書マネージャー」が開くので、「認証局証明書」タブより、「インポート」をクリックする。



④ ダウンロードした証明書ファイルを選択し、「開く」をクリックする。



⑤

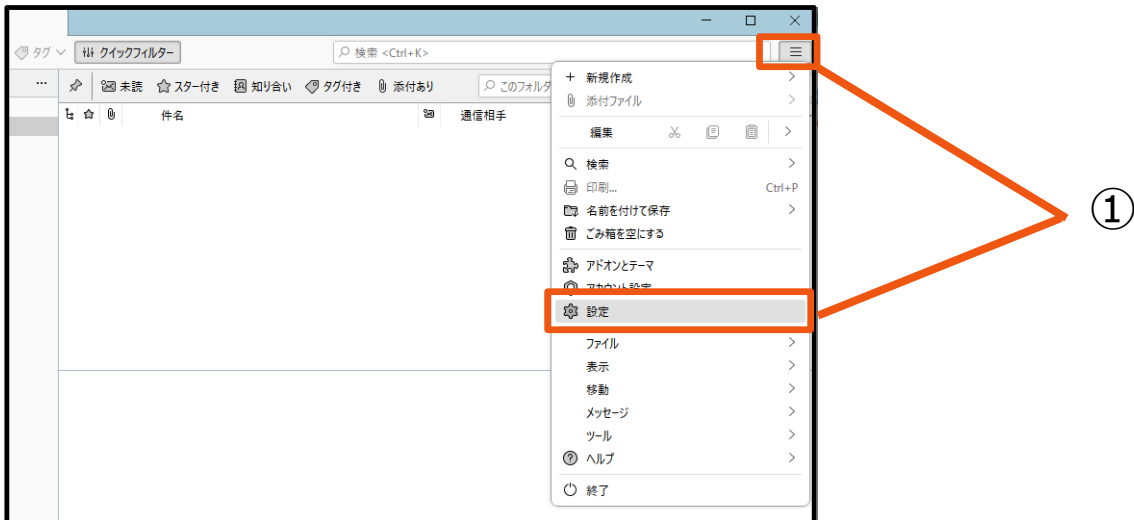
- ⑤ 「証明書のインポート」ダイアログボックスが開いたら、2つのチェックボックス全てにチェックを入れ、「OK」をクリックする。



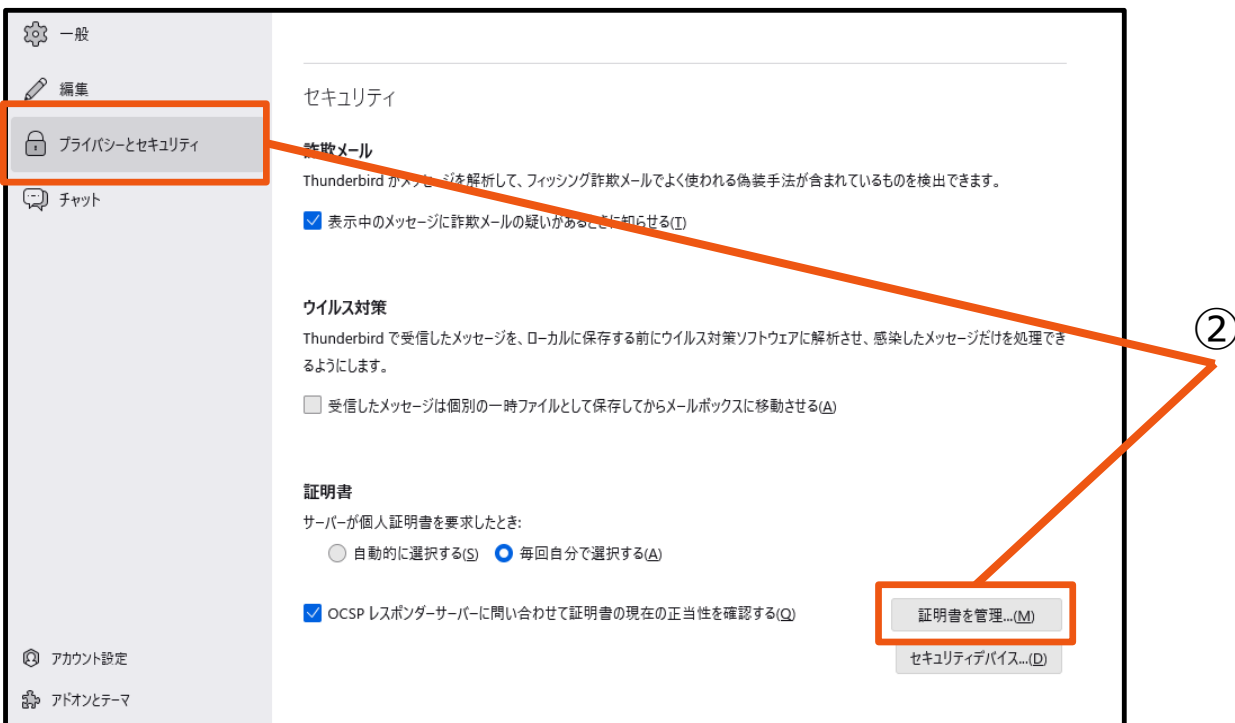
⑥

- ⑥ 「証明書マネージャー」に戻り、[証明書名と発行者名]を「T列」までスクロールを実施する。「Trend Micro」の下に「Cloud Edge:Software Security Device」という項目が追加されていればインポートの完了です。

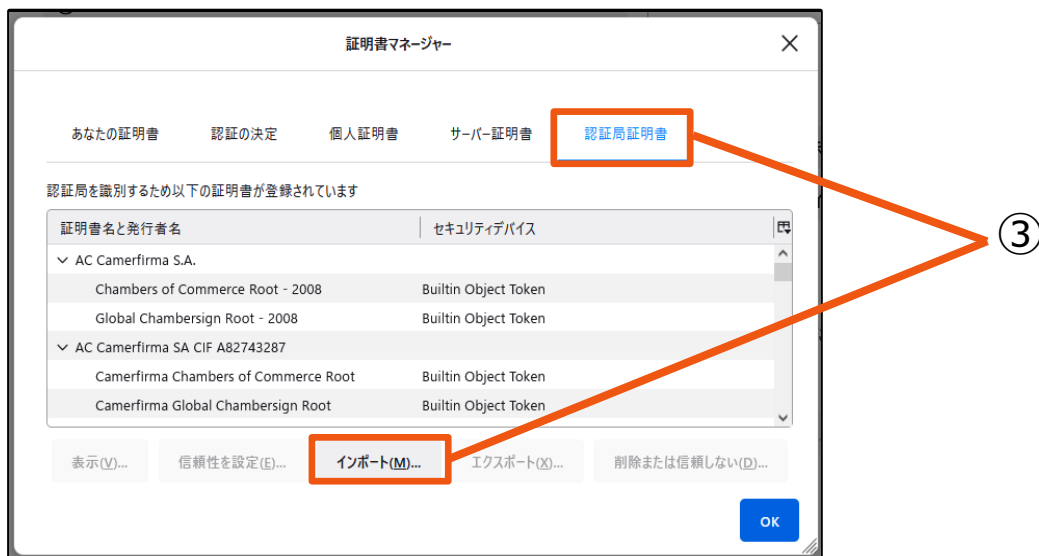
Thunderbirdにおける証明書インストール方法 1 / 3



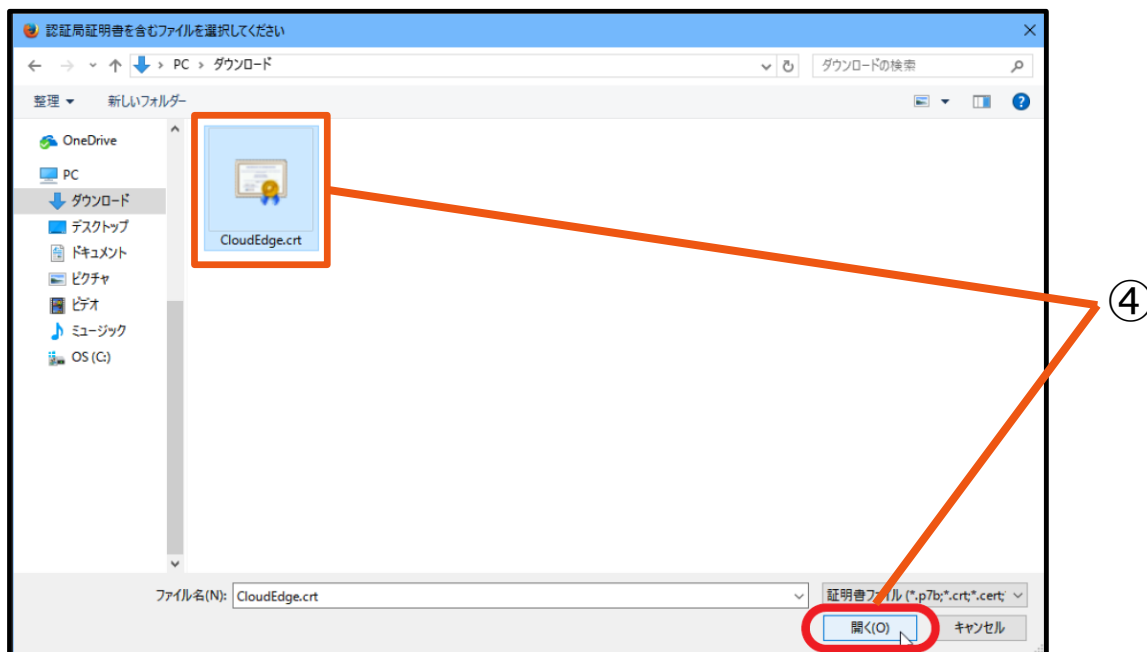
① ツールバーの一番右にあるメニューをクリックして、「設定」をクリックする。



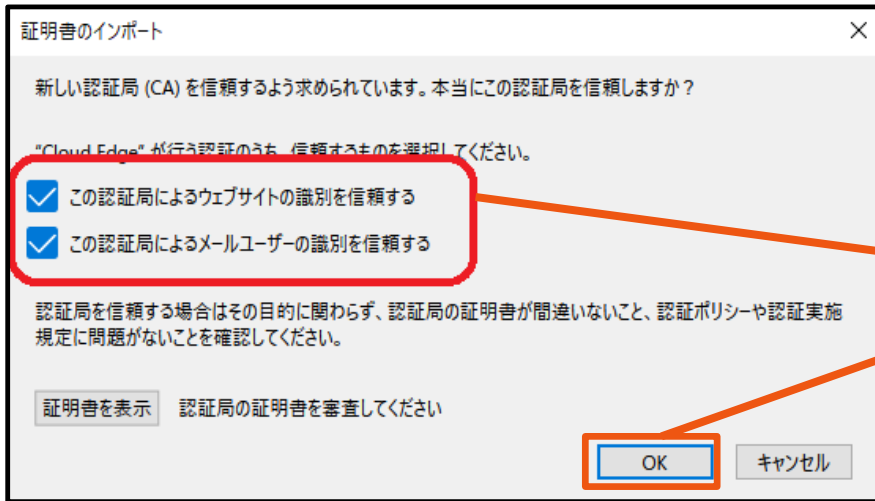
②「プライバシーとセキュリティ」をクリックし、「証明書を管理」をクリックする。



③ 「証明書マネージャー」が開くので、「認証局証明書」タブより、「インポート」をクリックする。



④ ダウンロードした証明書ファイルを選択し、「開く」をクリックする。



⑤

⑤ 「証明書のインポート」ダイアログボックスが開いたら、2つのチェックボックス全てにチェックを入れ、「OK」をクリックする。



⑥

⑥ 「証明書マネージャー」に戻り、[証明書名と発行者名]を「T列」までスクロールを実施する。「Trend Micro」の下に「Cloud Edge:Software Security Device」という項目が追加されていればインポートの完了です。

※iOS 13を用いた一例です。メーカー、機種、バージョンにより一部画面が異なります。



①



②



③

- ① ダウンロードした証明書ファイルをクリックする。[プロフィールがダウンロードされました]の画面が開きますので閉じます。
- ② 「設定」>「プロフィールがダウンロード済み」の順にタップ。
- ③ 「インストール」をタップ。

※iOS 13を用いた一例です。メーカー、機種、バージョンにより一部画面が異なります。



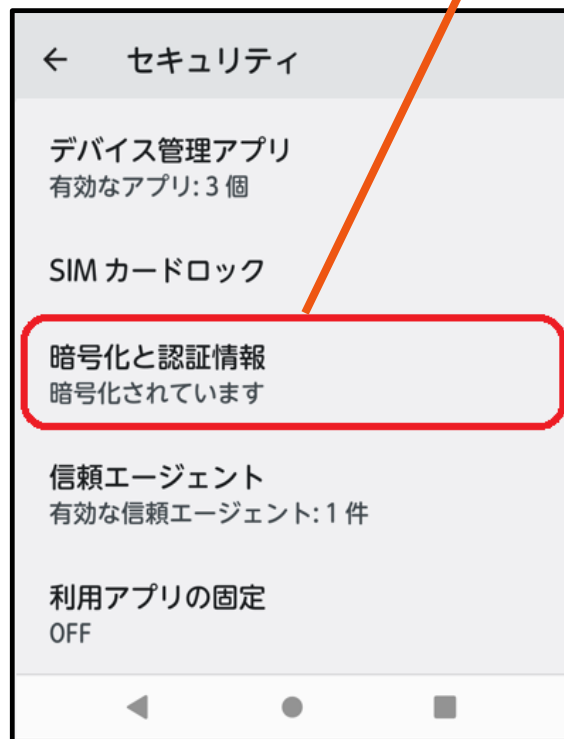
- ④ この証明書は信頼されていないため、警告が表示される。「インストール」をタップする。
- ⑤ 再度、下に表示される「インストール」をタップする。
- ⑥ 「インストール完了」確認画面が開き、[検証済み] 緑のチェックマークが表示されるので、「完了」をタップする。

※iOS 13を用いた一例です。メーカー、機種、バージョンにより一部画面が異なります。



- ⑦ 「設定」>「一般」>「VPNとデバイス管理」の順にタップして、Cloud Edge証明書がインストールされた事を確認する。
- ⑧ 「設定」>「一般」>「情報」>「証明書信頼設定」の順にタップして、[Cloud Edge] の設定を [ON] にスライドして、CA証明書に対する完全な信頼を有効する。メッセージが表示するので[続ける]をタップする。

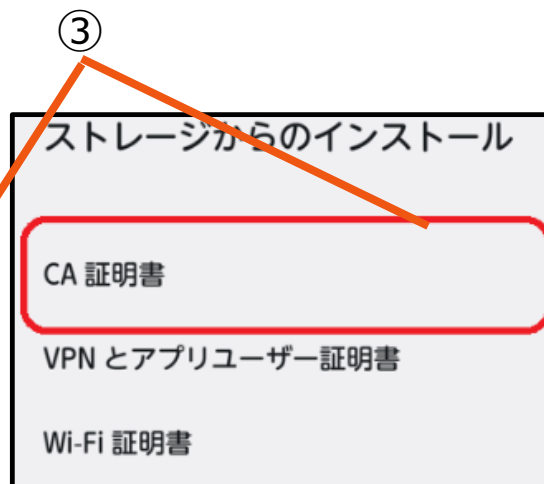
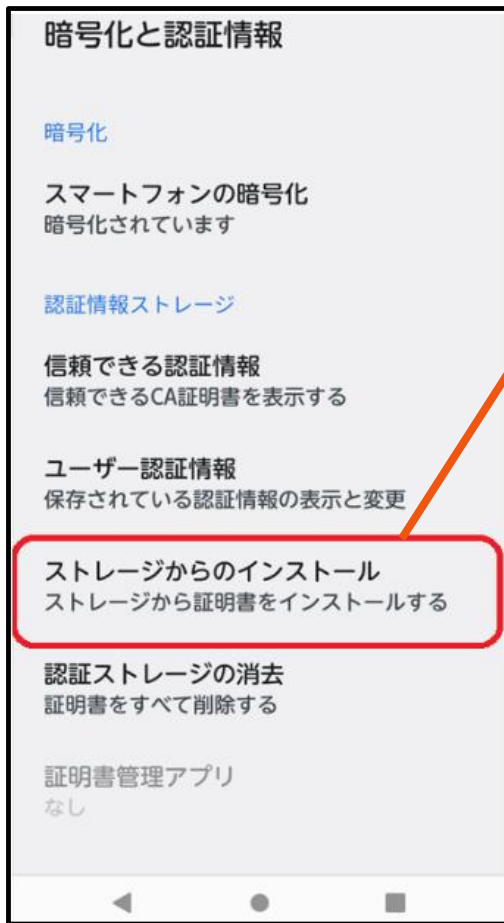
※ Android12を用いた一例です。メーカー、機種、バージョンにより一部画面が異なります。



① 「設定」>「セキュリティ」の順にタップ。

② 「暗号化と認証情報」をタップ

※ Android12を用いた一例です。メーカ、機種、バージョンにより一部画面が異なります。



- ③ 「ストレージからインストール」>「CA証明書」の順にタップ。
- ④ 証明書をダウンロードした場所を開き「CloudEdge.crt」を選択インストールする。
- ⑤ 「設定」>「セキュリティ」>「信頼できる認証情報」の順にタップして、[ユーザー]タブを選択し、Cloud Edge証明書がインポートされたことを確認する。